

富士川町

第 59 号

令和7年(2025年)1月24日発行



議会だより



富士川町議会 検索

山梨県富士川町議会



インタビュー

富士川町への思い、小さい頃の思い出や、将来の夢、二十歳をむかえての感想などをお聞きました。



教員を目指して県内の大学に通っています。富士川町はすごく大切なところ。子どもの頃、親とサイクリングをしたことが思い出です。二十歳の実感はありませんが、両親に恩返しが出来ればと思います。



学生3人組。県外在住の2人は、そのまま県外に就職希望です。人が優しい町。年配者が多く若年層が少ないと感じますが、今住んでいるところよりは子どもが多いと感じます。R52のお祭りが楽しかったです。意外と早く成人したと思いますが、実感はありません。



会社員です。楽しく暮したいです。明るい町だと思います。日本語を優しく教えてもらったことが思い出です。二十歳になった実感はないです。

美容師になるため県内の専門学校に通っています。就職先の美容院でバイトをしています。自立したいです。

目次

第4回 定例会

令和6年12月6日～12月13日

P.1 表紙

まほらの郷鷹座楽小林八幡太鼓
『まほらの郷鷹座楽小林八幡太鼓』は、平成11年に発足したチームです。チームの名前にもなっている鷹座楽山からの自然を感じながら、子どもから大人まで一緒に打ち込んでいます。(写真は太鼓の演者)

P.2 目次

P.2～ 二十歳の誓い

1月4日(土) はくばく文化ホールにてインタビュー(左)

おめでとう!
新成人
112人



P.4 12月定例会で決まったこと

P.5 12月定例会質疑

P.6～ 一般質問

- 1.望月 眞議員
- 2.小林 和良議員
- 3.宇田川 朱恵議員
- 4.齊藤 欽也議員
- 5.深澤 一幸議員
- 6.神田 雅也議員
- 7.小林 有紀子議員

P.10～ 委員会活動(3) 議会活動(1)
特別委員会(1) 組合議会(1)

P.13 追跡シリーズ

一般質問後の進ちょく状況を報告します。

P.14～ モニターさんからいただいた 主なご意見を掲載しました

P.16 裏表紙

富士川舟運の歴史と共に繁栄、消えた明神・白子地区

二十歳の誓いイン



県内の専門学校に通い国家公務員を目指しています。フレンドリーなところが好きです。大人としての自覚を持ちたいです。

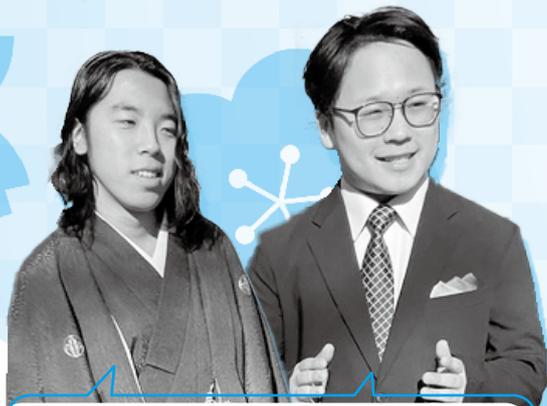
看護師を目指して看護大学に入学します。幼い時公園で迷子になり、近所の人が親切に案内してくれたことが思い出です。19歳と20歳では大きな差を感じます。

陸上をやっていたので、体育教師を目指し大学に通っています。穏やかな町が好きで将来は戻ってきたいです。二十歳になったの思いは「まっとうな大人になりたい」です。



県内の専門学校に通い歯科衛生士を目指しています。思い出はたくさんあります。お年玉がもらえなくなりました。(笑)

県外の専門学校に通いアニメーターを目指しています。町にはお金がなく、子どもを育てにくい環境だと感じており、優しい町になってほしいと思います。お酒が飲める年齢になりました。



保育園から一緒、二年ぶりの再会です。二人とも県内に戻り教員を目指します。富士川町は車での移動が楽、コンパクトシティ。中学校の時に水戸黄門の演劇をしたのが思い出です。成人年齢が18才になったので実感はありませんが「肩の荷が半分降りた」という親の言葉に、責任感が増したと思います。



医学療法士、理学療法士、作業療法士をめざして勉強しており、地元で働きたいと考えています。

自然が豊かで、近所付き合いが良く仲の良い感じがします。ラジオ体操やヘリポート見学、ドッジボールが楽しかったです。二十歳の実感はなく思ったより大人になれていないですが、親を大切にしたいです。

12月定例会 で決まったこと

専決処分承認案1件、条例改正案4件、補正予算案7件、計画変更案1件、連携協約案1件、組合事務変更案2件、人事案2件を可決した。

● 一般会計補正予算 9,178万円

● 補正後の予算総額 91億7,127万円

おもな一般会計補正予算

◆ガバメントクラウドファンディング報償(企画総務費)	600万円
◆防犯灯電気料(防犯費)	108万円
◆物価高騰対策・子育て世帯応援臨時給付金(保育所総務費)	400万円
◆学校給食賄材料費(給食センター費)	266万円
◆人事院勧告による給与費(各費目)	7,585万円

連携協約案件

～甲府市とのやまなし県央連携に関する協議についての案件とは～

甲府市とのやまなし県央連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結する協議を行うことを取り決めた。

■ 目的

圏域全体の取組を相互に連携することにより、地域の個性と魅力を活かし、人口減少・少子高齢化社会にあっても、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済が維持され、住民の暮らしを支えることが可能な魅力あふれる圏域を形成することを目的とする。

■ 主な内容

広域観光の推進、地域産業の振興、公共施設・公共インフラの広域的利活用、消防の広域的な連携強化、災害対策の推進、空き家対策の推進、子ども・子育てへの支援、移住定住の促進、人材の育成などと多岐にわたっている。

※現在、連携協約提携市町は甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、昭和町、中央市、南アルプス市、韮崎市、北杜市、甲斐市の9市1町である。(2024年3月)

請願審査結果

「持続可能な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める請願書が提出された。

付託されたひとつづくり常任委員会で慎重審議した結果採択され、意見書を提出することを原案のとおり可決した。

定例会おもな質疑

* 質疑とは…会議で議題となっている議案に対し、説明を求め疑義を正すこと。

補正予算案件

問 バス借り上げ代67万4千円の内容は。

答 大洗町への訪問希望の申し込みが多数であったため、バス2台を借り上げ第二弾日帰りバスツアーを行う予定である。



問 子育て世帯応援臨時給付金400万円のうち、一般財源分100万円は県からの条件か。

答 県の条件ではなく、対象者400人に一人1万円を支給するため100万円は町単独の費用である。

問 保育園などへ通園していない子どもは、家庭育児応援金給付があるため、今回は保育園などに通園している子どもが対象ということだが、諸事情により3歳以上の保育園などへ通っていない子どもへの補助はあるのか。

答 該当にならないため、補助はない。

富士川町過疎地域特別持続発展計画の変更について

問 光ファイバー整備事業が追加された理由は。

答 中部地区、五開地区において、NTTの光ファイバーケーブルを引くことの要望が出されているため。

問 光ファイバーケーブルの計画で富士川町全域が網羅されるのか。

答 富士川町全地区において、NTTの光ファイバーケーブルが引かれるという形になる。

問 NTTの光ファイバーケーブル設置の条件は。

答 施設費用の一部負担と他に110世帯の加入である。

甲府市とのやまなし県央連携に関する協議について

問 甲府市との連携協約の締結をすることの効果は。

答 甲府市を中心とした国中地域との連携がとれることで、観光部門、交流人口の増加を見込んでいる。

問 町の負担や経済的なデメリットは。

答 甲府市が中心となる事業なので、町の負担は発生しない。

問 町が「このように進みたい」という考えはあるか。

答 道の駅富士川を中心に、中部横断道沿線の交流が増えていく。南アルプス市以北に向けて観光面の推進を考えている。

最終日に条例改正に関する討論が行われた

町長等の給与及び旅費条例、町議会の議員の議員報酬、及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

反対討論者 齊藤欽也 神田雅也

賛成討論者 青柳光仁 小林和良

討論の結果賛成8、反対2で否決、病欠欠席2名

原案賛成者 井上光三、青柳光仁、小林有紀子、

望月眞、秋山仁、小林和良、深澤一幸、宇田川朱恵

原案反対者 齊藤欽也、神田雅也

一般質問



動画はこちらから
YouTube

通告一覧全ての問と答は掲載されてはおりません。二次元コード及びCATVをご視聴ください。

通告一覧

1 望月 眞 議員

- 地域公共交通の運行について
- 富士川町地域公共交通計画について

2 小林 和良 議員

- 増加する空き地、空き家対策について
- 国際交流の進め方について

3 宇田川 朱恵 議員

- 町民との協働について

4 齊藤 欽也 議員

- 新中学校校舎建設について
- 町民体育館建設について
- 景観条例について

5 深澤 一幸 議員

- 給食費の無償化について
- 公立中学校の部活動の地域移行について

6 神田 雅也 議員

- 災害時における本町の体制づくりについて

- 災害時の要支援者の対応について
- 防災リーダー養成講座を受講された方への対応について

7 小林 有紀子 議員

- 投票環境の整備について
- 箱原地区農業集落排水事業について
- 観光振興について

問 交通弱者の利便性向上のため、高齢者等にタクシー券交付導入の検討は出来ないか。
防災交通課長 デマンド交通を町内タクシー事業者に委託運行し、交通弱者支援や交通空白地解消を図っている。タクシー券交付は交通弱者への新たな交通手段の提供として有効だが、需要に対する事業者のドライバーや車両台数の確保等を考慮する必要がある。こうしたことから、町内を500円で移動できる、ワンコインタクシーの研究も含め、慎重に検討していく。



望月 眞 議員

問 こども施策と地域公共交通の活性化のためコミュニティバス、ホリデーバス、高校生までと障がい者の運賃無料化は出来ないか。
防災交通課長 コミュニティバス、ホリデーバス共に、全区間一律で200円、小学生以下は100円で運行している。また、ホリデーバスについては、障がい者や町内の小学生、高齢者は証明書等の提示により無料で利用できる。無料化の対象拡大の実施は、利

問 公共交通システム利用者の負担軽減を
答 持続可能な交通システムの調査研究をする

用の増加は見込まれるが、運行収入の減による財政負担の増加が懸念される。このため、利用状況や財政状況を注視し、持続可能な運行が行えるよう、調査研究をしていく。



コミュニティバスで通学



問 担当課を超えたプロジェクト化は

答 設置について研究していく

問 地域活性化の実現のために各担当課の壁を越えたプロジェクト化が進められないか。

る方法も考えられるため、プロジェクト化の設置について研究していきたい。

財務課長 空き地・空き家等の対策として、各課を横断したプロジェクト化により、その解決策や活用策を検討することは、情報の共有とその該当する案件をいかに地域の活性化に結びつけていくことができるかなど、解決策や活用策の提案が生まれてくる。

国際交流のメリットは

既に関係課で構成されている富士川町空家等対策連絡調整委員会の体制を整理・強化す

問 現在進めているラプラプ市との国際交流のメリットは。

政策秘書課長 本年2月に町長がラプラプ市長を表敬訪問し、7月にはラプラプ市訪日団が富士川町を訪れたことにより、交流をさらに深める機運が高まっている。

また、英語圏の都市との交流は、子ども

たちの英語力に大きな影響を与えるものである。ラプラプ市と交流を深めることで、文化交流が活発になること、グローバル教育の充実がメリットである。



ラプラプ市と姉妹都市締結している大洗町のマンツーマン英会話レッスン



問 協働についての計画を盛り込むのか

答 盛り込んでいきたい

問 第三次総合計画には協働について具体的などのような計画を盛り込む予定か。

ついて、町の考えは。**政策秘書課長** 自治基本条例を策定することについては、住民自治の推進や町政運営の基本方針を明確にする手法の一つと認識している。また、条例の内容を町民全体で十分に共有し、運用における実効性を確保することが求められると考えている。

政策秘書課長 現時点において具体的な計画についてはまだ決定していないが、基本目標として「地域から始まる協働のまちづくり」や「笑顔あふれる地域ネットワークの形成」など、協働の機運を高める計画を盛り込んでいきたいと考える。

これまで町民の皆様との対話や、協働を基盤としたまちづくりに取り組んできており、現在の運営体制においても一定の成果を上げてきている。現時

問 住民自治に基づく自治体運営の基本原則などを定めた自治基本条例を作成することに

点で自治基本条例を策定することは考えないが既存の制度を活用し、町の皆様との信頼関係を基盤に協働のまちづくりを推進していく。



町民との協働のふじかわRMO未来会議



問 町民体育館建設のスケジュールは

答 令和15年度竣工に向け進める

問 町民体育館建設のスケジュールは。

生涯学習課長 今年度

中に、いくつかの候補地を選定する予定である。体育館の規模、建設費用などについて、現実的かつ具体的にコスト計算を行い、町の財政状況と入念にすり合わせを行ったうえで、用地を決定している。その後、建設に向けたプロセスを進めるにあたり、基本計画検討委員会等で検討を行った後に、議会や町民の皆さまに必要な説明会を行い、令和15年度を目途

に竣工できるような進めしていく。

新中学校校舎建設は

問 少子化のため10年後を見据え、中学校校舎建設を一旦中止すべきではないか。

教育総務課長 現在、

人口減少により児童生徒数は減少しているが、県が進めている小学校の25人学級が、中学校でも導入された場合は、10年後であっても

必要とする校舎の面積が現在と変わらない。加えて少人数や個々の対応が増え、子どもたちの実情にあった施設での学習が求められることから、引き続き、計画通り新校舎建設を進めていく。



解体予定の校舎



問 給食費の無償化について

答 来年度から実施していきたい

問 給食費の無償化についてどのようか考えていくのか。

教育総務課長 県内

トップクラスの子育て支援を目指し、保育料の無償化や在宅育児応援給付金、学校給食費減免制度など子育てに係る支援を積極的に取り組んでいる。しかし、近年の物価高騰により、子育て世帯にも更なる経済的負担が重くのしかかってきている。このような社会情勢のもとでは、給食費の無償化は、子育て世帯の負担軽減に非常に有効であると考

えている。こうしたことから、更なる子育て支援として、来年度から給食費の無償化を実現したいと考えている。

公立中学校の部活動の地域移行は

問 地域移行に向けたガイドラインの作成、アンケート調査を実施したのか。

教育総務課長 昨年12

月に県が策定したガイドラインに沿って進めることとしている。現在「部活動地域移行推進委員会」を設置し、学校や地域の課題を共

有する中で地域クラブ活動への移行に向けたロードマップを作成したところである。今後は、試行的に地域移行の部活動を実施し、必要に応じてアンケート調査を行なう。



栄養管理されたおいしい給食



問 災害時における本町の体制づくりについて、災害協定締結の状況は。

防災交通課長 災害協定締結の状況については、国や地方公共団体との締結が15件、民間事業者との締結が37件となっている。これらの協定は、災害時における対応や物資の調達、避難所の運営など、迅速で円滑な災害対応を可能とするために締結している。

問 災害協定締結の状況は

答 公、民合わせて52件と締結している

要支援者の個別避難計画は

問 災害時の要支援者への個別避難計画の作成状況は。

福祉保健課長 災害対策基本法により、避難行動要支援者ごとの個別避難計画は、

町で作成することが、努力義務とされている。個別避難計画の内容は、要支援者名簿に記載されている情報に加え、避難支援を行う者の情報や、避難場所、避難経路の情報等を



能登震災の恐ろしさを感じて…
(提供：珠洲市議会)

記録している。策定状況については、毎年、登録者支援カードの更新とあわせて実施しており、現在は、134人の個別計画が策定済みである。



問 投票所において選挙人がサポートを受けやすくするための「コミュニケーションボード」や「投票支援カード」などの導入は。

財務課長 投票所における投票支援は、選挙人が支援を求めてきた場合には、投票事務従事者などにより、案内等でサポートを行ってきた。言葉に頼らない「コミュニケーションボード」や「投票支援カード」は、分かりやすく、正確に支援内容を伝えることができ非常に有効な支援策であると認識している。今後、

問 投票支援カードなどの導入は

答 先進事例を参考に検討する

投票支援の充実に向け、先進事例を参考に検討したい。

問 高齢化、人口減少などの現状に対応するため、移動投票所の導入は。

財務課長 中山間地域における過疎化の進展

など、社会環境の変化に応じた投票環境の改善が求められている。投票所の統合などによる投票環境の整備については、移動式投票所の導入も含め検討していく。

投票時に支援してほしい事は?!
(提供：京都市・上野原市選挙管理委員会)



投票時に支援してほしい事は?!
(提供：京都市・上野原市選挙管理委員会)

ひとづくり常任委員会活動報告

子ども議会視察

富士川町子ども議会の開催を視野に入れて、先進事例の視察を行った。各議会、それぞれの実情に合わせ工夫して開催していた。各議会とも、子ども、若者の意見を活かしていきたいという思いが感じられた。

- 令和6年7月31日(水)
山梨県議会 高校生議会
- 令和6年8月1日(木)
甲州市議会 子ども議会
- 令和6年8月7日(水)
長野県富士見町議会
子ども議会見学ツアー

財政学習会

令和6年8月23日(金)

富士川町財政課課長による財政健全化法についての学習会を行った。事業を行う上で財政について考えることは必ず必要になること、また、将来に大きな負担を残さないためにも委員会構成が変わった今年度に財政を学べたことは貴重な機会となった。



学習会の様子

ふじかわまちづくり 公社学習会

令和6年8月27日(火)

令和5年度に設立され、今年度新しい社長を迎えたふじかわまちづくり公社の学習会を行った。公社の事業内容や組織、公社がこれから手掛けていきたいことについて説明を受けた。ふるさと納税だけではなく、DMO事業(観光業)や、地方創生事業(町の活性化のための事業)にもさらに取り組んでいくとのこと。議会としても引き続き注目していきたい。

まちづくり常任委員会活動報告

「まほらの湯」「かじかの湯」 リニューアル工事進ちょく状況確認

まほらの湯、かじかの湯のリニューアル工事進ちょく状況を現地で現状を確認した。

- 令和6年6月11日(火) まほらの湯 現状確認
- 令和6年7月11日(木) かじかの湯 現状確認



かじかの湯現状確認

「財産区有林」および「恩賜林」学習会実施

令和6年12月10日(火)

富士川町内の「財産区有林」及び「恩賜林(恩賜県有財産)」について学習会を実施。

今回は、産業振興課に依頼してそれぞれの歴史的

経緯、「財産区」においては法的根拠、区域、執行機関について「恩賜林」においては部分林、入会慣行等、恩賜林保護財産区及び保護組合について学んだ。

各常任委員会は、今後も必要な知識、情報を取り入れる活動を実施していく。

広報常任委員会活動報告

分かりやすい紙面づくりのために研修会に参加

全国町村議会広報研修会

令和6年9月25日(水)

東京都港区虎ノ門：ニッショーホール

■研修テーマ

- ・読まれる議会広報誌の作り方
- ・パッと伝わる議会広報紙に
- ・読まれない議会だよりに出す意味はなし



町村議会広報研修会(ニッショーホール)

山梨県町村議会 広報編集委員行政調査

令和6年10月29日(火)～30日(水) 茨城県美浦村役場

5町3村の委員による行政調査を実施した。美浦村は昨年度の広報コンクール表紙部門で銅賞を受賞しており、表紙を含めた紙面づくりについて多くの質問が出た。目に付くレイアウトが印象的であり被写体の表情を上手く捉えているところも参考になった。

山梨県町村議会 広報編集委員長会議

令和6年11月15日(金) 山梨県自治会館

令和7年度の事業概要が議題となった。山梨県広報コンクールが実施されるが富士川町も応募した。また、委員の変更があった町村の紹介もあった。

議会活動 ～先進事例を学ぶ～

議会行政視察

令和6年10月2日(水) 茨城県大洗町

3日(木) 川場田園プラザ(群馬県川場村)

茨城県大洗町は令和2年に友好都市協定を結んでいるので、大洗町、大洗町議会への親善訪問も兼ねての視察となった。

大洗町は、ふるさと納税が令和4年9億円から令和5年14億円に伸びたため、一年間で5億円以上増加した理由を学んだ。寄附を伸ばすために、地域の事業者にもふるさと納税について丁寧に説明をし、賛同を得ることで、返礼品の種類も増やしつつ、町全体でふるさと納税への協力体制を作っていたとの事。ふじかわまちづくり公社の事業推進にも参考にしていきたい。

川場田園プラザは、群馬県・川場村にある道の駅であり、人口3,000人の村に県内外から年間250万人が訪れる。農村風景をイメージした道の駅には店舗だけでなく、ソリゲレンデや大人も楽しめるネットアスレチックなど子どもの遊び場も設けられ、休憩場所も多く一日を過ごせる場所になっていた。富士川町の子どもの遊び場や道の駅の参考にしていきたい。



大洗町にてふるさと納税学習会の様子



大洗町議場にて

中学校整備等検討特別委員会 令和6年12月13日(金)

富士川新中学校開校に向けての 検討及び進ちょく状況について

- 校章・校旗：デザイン決定
- 校歌：作詞 江宮隆之氏、作曲 池田綾子氏へ依頼済
- 閉校式：増穂中学校 令和7年3月23日(日)
鰐沢中学校 令和7年3月20日(木・祝)
- 開校記念式典：令和7年5月中に実施
- 通学方法：増穂地区は現状のまま、鰐沢地区は
南区以南はバス通学、それ以外は徒歩とする。
- 制服・体操着など：旧制服着用可(期限あり)、
制服補助金申請対応中
- 検討中の項目：教育課程の編成、日課、学校行事、
部活動、生徒会、学校組織

新校舎建設について

基本設計完了時

- 敷地面積：23802.02㎡

- 校舎建築面積：1925.67㎡
- 延べ床面積：5038.70㎡
- 規模・構造：鉄筋コンクリート造 3階建て

校舎内部

基準に沿った教室配置である。廊下は幅3mで生徒の交流の場としてベンチやテーブルを配置する。



新中学校建設予定図

峡南広域行政組合(一部事務組合)議会報告

令和6年10月1日(火)第2回定例会

補正予算案1件 認定案3件 計4件が審議、認定された。

補正予算は歳入歳出予算の総額にそれぞれに584万円を追加し、予算の総額を26億5,034万円とした。補正の要因は、新庁舎建設に伴う県有地払い下げ購入費526万円など。

*消防庁舎等整備事業について

浸水想定区域にある現消防本部の移転新庁舎建設に合わせて、峡南広域行政組合及び、情報センターの整備事業が進行している。現在かさ上げ工事中、市川三郷町大鳥居地内(富士川大橋東詰交差点近く)。



峡南広域消防署建設地かさ上げ

こども条例のご意見 お待ちしております

富士川町こどもの権利条例制定に向けてホームページにこども条例案、資料を公開しました。ご覧頂きご意見などをお寄せください。お子さんからのご意見もお待ちしております。



ホームページ

一部事務組合とは

- 事務事業のうち近隣市町と共同で処理した方が効率的な場合に設置する広域行政組織。
- 富士川町は4つの組合組織に加入している。組合事業は各町の負担金で運営する。
- 運営は各町の利害が絡むため、組合議会が設置され、その協議と合意に基づき運営している。

追跡

シリーズ

どうなった?



あの質問、 その後は…

議員が行った一般質問が町政にどう反映されたのか追跡調査を行いました。
(2件を選別掲載)

富士川町の「空き家無料相談会」の 開催計画は (令和6年3月の一般質問)

空き家所有者または空き家になる可能性がある町民に対して、空き家無料相談会は、いつごろをめどに計画される予定なのか。

開催は県の司法書士会と協議し進める

年に複数回の実施を目指していることから、第1回目は夏前の開催に向けて取り組んでいきたい。

令和6年12月現在の進ちよく

夏前の開催計画であったが、協議の結果、
第1回 令和6年12月19日(木)実施。
第2回 令和7年2月19日(水)計画。
詳細は広報、ホームページ、公式LINEでお知らせする。

空き家無料相談会

空き家でお困りでは
ありませんか?



災害時に活躍する女性防災リーダーの育成は (令和4年9月の一般質問)

災害時や緊急時により良い支援をするため、女性の視点を取り入れた避難所運営体制の強化が望まれる。防災リーダーの育成の見解は。

町としても、検討していきたい

地域防災力の強化のため、山梨県や民間団体で開催される防災リーダー養成講座への積極的な参加を促していきたい。

令和6年12月現在の進ちよく

富士川町防災リーダー養成講座を実施。
第1回 令和5年11月5日(日)
第2回 令和6年11月2日(土)
毎年開催する予定。

令和7年度には…

令和5年度、令和6年度防災リーダー養成講座終了者向けにフォローアップ研修を予定している。

質問

答弁

その後の進ちよく

主なご意見を掲載しました

57号分



表紙・巻頭写真

1頁

- 富士川町に関する事柄の写真でよい。写真の撮り方に工夫が欲しい。
- 議会だよりとは関係性が薄すぎるかと思う。

新体制での議会がスタートしました

2~3頁

- 写真と委員の名前が連動していない様だった。

6月定例議会 一般会計補正予算質疑

4~6頁

- どのページも青色と黒色で目に優しい。主な質疑分かりやすかった。
- 5頁は少し読みにくい、写真が欲しい。質疑はわかりやすい。

第2回臨時会 常任委員会報告

7頁

- 案内をする場合、担当課の電話番号等の情報を載せては。
- 委員会報告にも写真を入れては。

一般質問通告一覧 一般質問

8頁

- 縦書きでなく横書きの方が見やすいのでは。
- 質問5に対して2問しか掲載されていない。
- 通告一覧に対して答の無いものがある。

一般質問

9頁

- リバーサイドパークの説明が欲しい。
- 生成AI別枠での説明がよかった。

一般質問

11頁

- 耐震補強の重要性がもっと伝わる写真の方がよかった。

その他、議会だより
議会活動、町政全般
についてご意見、
ご要望、疑問など

- 初めてスミからスミまで読んでみた。文字の大小や写真レイアウトなど、とても読みやすかった。
- 議会だよりは学校に配布されているのか、中学校1クラスに1部でもあれば育成につながると思う。
- 読みやすく、目にもとてもやさしくとてもよかった。
- 議員の活動報告も載せて欲しい。

特別委員会報告

12頁

- 質問と解答の色が他の頁と違うのが少し気になった。
- 大きな見出しの方がよかった。

広報モニター委嘱

13頁

- 顔写真がもう少し小さくてもよかった。

追跡、どうなった

14頁

- 時系列で追っているののでわかりやすい。
- 写真がわかりやすい。※の説明がついていてよかった。
- 進ちょくがあった例だけでなく、進んでないものも載せて欲しい。

特集 ドッグラン

14頁

- 写真が多くイメージが湧き見やすい。場所の掲載があればよかった。
- 問い合わせの掲載があると親切。利用者さんを載せることで議会だよりを多くの人が見るチャンスが出来て他の項目にも目を向けるのではないかと思った。

裏表紙 富士川今昔物語「甲斐青柳駅」

16頁

- 写真、文字のバランスがよい。白黒写真とカラーの対比がよい。
- 町外出身者にとっても興味深い記事だった。

一般質問、通告に対して答えのないものがある、ご指摘を受けて58号から説明を載せました。



58号分

モニターさんからいただいた

表紙・巻頭写真

1頁

- こうした部活動があるのを表紙で知った。
- 明るい風景の表紙のため、いったん手を止めて見ようという感じになった。
- もう少し笑顔だったらもっとよい。

このような事業が行われました

2~3頁

- どう使われたか、実際の写真が使われているので分かりやすい。
- 財政を見るポイントが分かりやすい。
- 各費用の掲載順、円グラフ等で表したら見やすかった。

決算特別委員会 審査レポート

4~5頁

- 一問一答形式で見やすい。
- 質疑の写真も見れてよかった。
- フォントやイラストに工夫がみられた、また見開きのページで見やすかった。

9月定例会 おもな質疑

6頁

- 金額は分かりやすいが、言葉の意味が分かりにくい。
- おもな質疑は57号の方がよい。

新中学校校歌作製費の減額修正案否決

7頁

- 賛成、反対はそれぞれ分けたほうが見やすかった。
- 減額修正案は議会内容が見られてよかった。
- 否決の見出しがよくないことのような印象を受ける。
- 分かりやすさと、議員の意見がダイジェストで見れたことがよい。
- この記事が必要であるか疑問に思う。

一般質問通告一覧 一般質問

8頁

- 用語の解説がよい。
- 公式ラインと繋がるQRコードがあるとよいと思った。
- 内容に沿った過去のものが掲載されてよい。

一般質問

9頁

- 写真のキャプションを考えてほしい。

一般質問

10頁

- 脱字があった。

各組合決算

11頁

- 要点がまとまっている。
- 会計ごとに表示されていて分かりやすい。
- 少し読みにくいところがある。

裏表紙 富士川今昔物語「役場」

12頁

- 個人ではなかなか調べられないので、こういう発信はおもしろい。
- 毎回楽しく読んでいます。今回の役場も使用年代が分かり興味深いものだった。
- 今昔の写真が見られて毎回楽しみにしている。

その他、議会だより
議会活動、町政全般
についてご意見、
ご要望、疑問など



- パブリックコメントをそもそも知らない人が多いのでは、回覧板などを回して周知機会を増やしては。
- 害獣の特集ページを組んで、報奨金があることを伝え、より害獣減を促すことはできないのか。

タイトル、写真、読んでもらえるような工夫をしていきます。

*議会広報モニターとは…わかりやすく親しまれる「議会だより」をつくるために、「議会だより」に対する批評、提言、情報の提供、広報常任委員との意見交換などを行ない町民が分かりやすい記事に仕上がるようにご意見をいただいています。

富士川町

今昔物語

くらべてみました、
変わりゆくわが町の今と昔

鰻沢河岸はどこに

富士川舟運の歴史と共に繁栄、 消えた明神・白子地区



橋左側が明神白子地区 (故 村田一夫氏 昭和51年撮影)



現在の状況 (ドローンにて撮影)

富士川舟運は江戸幕府への年貢米を輸送するために「富士川開削」され発展しました。

鰻沢河岸は三河岸と呼ばれた黒沢河岸、青柳河岸のなかで最も栄えたところです。1610年(慶長年間)頃から1928年(昭和3年)の舟運終了まで300年以上、信州往還と駿州往還の交わる要衝となり人・物の物流拠点として発展しました。明治以降の交通手段の発展と身延線の開通と共に舟運は幕を閉じましたが、舟運の歴史は「歴史文化館・塩の華」で見ることが出来ます。

鰻沢河岸は台風と洪水によりたびたび浸水し土砂に覆われ、その都度、河岸を守り、護岸と土地のかさ上げ(1m以上)をしてきたようです。洪水被害は河岸の宿命ともいえます。

現在の宅配会社からコンビニエンスストアのあたりが問屋街地区(商家と民家)、南に御蔵台(40間×30間規模)があったようです。鰻沢河岸全体の規模は1821年(文政4年)文政の大火の資料によると「お米蔵、他家屋77軒焼失」とあるの

で、かなりの規模の町並みがあったと想像できます。御蔵台(米や塩などの保管場所)などは洪水・土石災害の度に場所を少しずつ移動したようです。

舟運の終焉と共に河岸の存在意義は薄れ、繁栄の中心は本町となりました。

細長い地形の「鰻沢河岸」明神白子は旧国道52号の開通や昭和62年から平成10年に行われた「禹之瀬」の開削や護岸工事、新国道52号の建設のための住居移転が進められ、町並みは無くなりましたが、工事着工前の発掘調査や資料調査により往時を偲ぶことが出来ます。

街や風景・景色は、自然のありようと人の営みの変化によって劇的に変わるという事を、改めて実感しました。

なお、関連資料は富士川町教育委員会や町立図書館に収集保管されています。今回の記事は、「なぜ、明神白子はなくなったのか?」この素朴な疑問から始まりました。